

○水生生物モニタリング調査結果一覧（秋元湖H）

＜秋元湖H 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
H-1	○	○	○	○	○	○
H-2	○	○	○	—	○	—

＜秋元湖H 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)		
H-1 (表層)	37.6575°	140.1264°	R2.10.23	08:43	08:59	14.4	13.3	軟泥	7.5Y 4/2	植物片	13.0	4.5		
13.6														
H-1 (下層)	37.6616°	140.1226°		09:25	09:36	14.2	14.0	軟泥	7.5Y 4/1	植物片	5.0	2.5		
H-2 (表層)														
H-2 (下層)														

＜秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
H-1 (表層)	37.6575°	140.1264°	R2.10.23	08:43	7.2	0.7	3.9	9.0	5.5	0.03	1.5	2	1.0	N.D. (0.0011)	0.0078	—
H-1 (下層)					7.0	<0.5	3.3	8.2	5.4	0.03	1.4	3	2.0	N.D. (0.0011)	0.0052	0.00092
H-2 (表層)	37.6616°	140.1226°		09:25	7.0	0.8	3.7	9.2	5.9	0.03	1.9	3	2.4	N.D. (0.0011)	0.0087	—
H-2 (下層)					7.0	<0.5	3.7	8.6	5.5	0.03	1.6	4	3.1	N.D. (0.0013)	0.018	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
H-1	37.6575°	140.1264°	R2.10.23	08:59	6.7	41	64.8	9.1	31.7	2.564	—	0.0	0.1	0.2	54.6	45.1	0.0062	2.0	30	700	1.2
H-2	37.6616°	140.1226°		09:36	6.7	10	74.0	12.0	43.5	2.486	0.0	0.1	0.1	0.5	37.4	61.9	0.0024	4.8	36	660	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜秋元湖H 分析項目 水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
H-1 H-2 H-3	湖内	37.6575° 37.6616° 37.6653°	140.1264° 140.1226° 140.1329°	R2.10.23	藻類・植物	—	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.019	—	—	—	N.D.	N.D. (2.2)	N.D. (2.1)	—
				R2.10.30	節足動物	軟甲	エビ	ザリガニ	<i>Pacifastacus leniusculus trowbridgii</i>	ウチダザリガニ	10	0.45	成体	—	—	—	16	N.D. (1.7)	16	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	10	1.6	成魚	不明消化物	内臓除去	18.2	1.2	17	0.58	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	5	2.1	成魚	不明消化物	内臓除去	16	N.D. (1.2)	16	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbuis</i>	ニゴイ	4	2.7	成魚	不明消化物	内臓除去	64.8	2.8	62	—	
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	キュウリウオ	<i>Hypomesus nipponensis</i>	フカサギ	30	0.15	未成魚/成魚	—	—	14	N.D. (0.90)	14	—	
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Salvelinus leucomaenis</i>	イワナ	2	0.32	成魚	空胃	内臓除去	9.5	N.D. (1.1)	9.5	—	
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou masou</i>	サクラマス	2	0.79	未成魚	陸上昆虫類	内臓除去	23.3	1.3	22	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	カンフイッショ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	8	1.7	未成魚	毛虫	内臓除去	35.6	1.6	34	—	
				脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	2	1.1	成魚	空胃	内臓除去	39.9	1.9	38	0.74		

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。